

福大・西南入試直前対策講座



大寒波により、止むを得ず順延…

センター試験を終えて息つく間もなくやって来る“福大”、“西南”の入学試験。そこに照準を合わせるべく、センター試験終了の翌週の日曜日に『福大・西南入試直前特訓』を予定していました。しかし、当日は日本列島は大寒波に襲われ…。公共の交通機関も麻痺し、自家用車の送迎が可能であったとしても、万が一ケガをした場合、入試どころの話ではありません。止むを得ず、1週間後の日曜日にスライドすることとなりました

まさに直前！

前述のとおり、開講日が延期になったため、福大の系統別入試に至っては「2日前」というまさに“直前対策”となりました。2日前と9日前ではやるべき事柄が変わってきます。当初の予定では頻出事項のレクチャー中心で講義をする予定でしたが、それよりも実戦演習のフォローに重きを置く指導体制に切り替えて1日のプログラムを消化していきました。こうした臨機応変な対応は、日頃から個別指導でケース・バイ・ケースの指導を行っている『九大パール』ならではともいえます。

● 参加した生徒の声

◆今日の講座を受けて、学んだことや受験への意気込みを書いてください。

今日の講座では受験の直前に何をやるべきかや英語・数学の基本的なことを改めて確認することができたと思う。受験まであと少ししかないけど、今更に分かることもあったので自信を持って、最後まで頑張りたいと思う。そして自分の第一志望である西南に合格したいと思う。



当日の様子



黙々と演習に取り組む生徒たち。



思わず身を乗り出して指導する坪井先生。



質問に丁寧に答える山崎先生。



重要ポイントは全体向けのフィードバックも行いました。

新高校3年生へアドバイス

英語 (山崎 健弘)

福大：知識レベルは基本的なものが多いです。しかしミス誘発するような選択肢も多いため、ケアレスミスがないように注意が必要です。過去問題を何度も解いて出題形式に慣れ、文法頻出単元については、文法書を何度も確認するようにしましょう。

西南：立命館などの同レベルの私大の問題も解いて広く知識を身につけておくとうれしいです。やはり基本問題が中心で、単語・熟語・文法は一通りマスターしておきたいところです。正誤問題に時間がかかりがちですが、長文でしっかり得点できるように時間配分に注意しながら演習しておくことが大切です。

古文 (坪井 和哉)

英語同様、単語・文法をしっかり固めなければ話になりません。普段の学校の予習・復習をおろそかにせず、また定期考査や模試は必ずやり直しを実行するようにしましょう。

直前期は以下の対策がポイントとなります。

福大：①資料集などを使って古文常識の確認、②動詞の活用、助動詞の接続・意味、③敬語表現

西南：基本的な形容詞・形容動詞の徹底暗記、②助動詞の接続・意味、③名詞の読み

古文は諦めなければいくらでも力を伸ばせます！粘り強く頑張りましょう！！

数学 (山本 真太郎)

福大：まず、基本的な公式が自力で使えるようになること。公式を覚えていても使えなければ問題は解けません。理系の人は数学Ⅲの積分計算が必ずできるようにしておきましょう。文系の人は数学Ⅰ・A・Ⅱが範囲なのでターゲットが絞やすい分、一つひとつを確実にマスターしていきましょう。

西南：計算力に自信があれば、時間をかければ解ける問題が多いです。しかし、気の利いた解法を用いれば正解にたどりつく問題も見られます。演習する際は「正解だからOK」ではなく、工夫した解き方が他にないかどうかを考えるようにしましょう。